

特定健診のご案内

ぜひ、今年度もイムス三芳総合病院での受診をお待ちしております。

【受付期間】

国民健康保険にご加入の方は、6月1日～11月30日まで
 社会保険にご加入の方は、受診券に記載されている有効期限をご確認ください。
 市町村、または保険者から郵送された受診券の有効期限は必ずご確認ください。

【受付時間】

予約制ではありませんので、ご都合のよろしい日にご来院ください。
 (月曜日～金曜日) 午前8:00～12:00 午後1:30～4:30
 (土曜日) 午前8:00～12:00

【受付場所】

初診の方は総合受付へ、再来の方は自動受付機にて行います。

【対象者】

40歳以上の三芳町、富士見市、ふじみ野市の国民健康保険、後期高齢者、生活保護受給者の方
 40歳以上の社会保険に加入している被扶養者の方
 ※受診券に関するお問い合わせは、健康保険証発行元(健康保険組合)までお願いいたします。

【検査項目】

- ①問診 ②身長・体重・BMI・腹囲・血圧測定 ③血液検査(脂質・血糖・貧血・肝機能検査) ④心電図
 ⑤尿検査(糖・蛋白・潜血) ⑥眼底検査(前年度の結果に基づき市町村より指示のあった方のみ対象)

【金額】

国民健康保険ご加入の方: 1,000円

※社会保険にご加入の方は、お持ちの受診券案内に記載されている金額になります。ご確認ください
 いただき、ご不明な点がありましたら受診券をお持ちになり健診窓口までお問い合わせください。

【持参していただく物】

- 市町村、または保険者から郵送された受診券
- 健康保険証

※特定健診を受診するときは、受診券と健康保険証をご提示ください。
 どちらか一方だけでは、受診できません。

診察券(お持ちの方のみ)

※生活保護受給者の場合、受給者証が必要となります。

※6月1日～11月30日までの期間、40歳以上の三芳町・富士見市・ふじみ野市にお住まいの方は、肺がん
 検診・大腸がん検診を各500円で検査することもできます。こちらの検査を希望される方は健診窓口で
 お申込みください。(大腸がん検診は11月27日締め切りとさせていただきますので、ご注意ください。)尚、10月～11月は混雑が予想されますので6月～9月の早めの受診をお勧めいたします。

※健診当日は採血の検査がある為、食後10時間以上空けてください。(水、茶は可)

※健診前日の飲酒はお控えください。

ご不明な点などございましたら健診窓口までお問い合わせください。

皆さまの声を聞かせてください!

イムス三芳総合病院では、よりよい病院づくりをすすめるため、患者さま・地域の
 皆さまのご意見を募集しています。ご意見は下記FAX、E-mailまたは院内総合受付
 横に設置のアンケートBOXまで。皆さまの貴重なご意見をお待ちしております。

FAX: 049-274-7016

E-mail: renkei.mkh@ims.gr.jp

イムス三芳総合病院 広報誌
 Plaza ims(プラザイムス) Vol.17 2010.8
 発行/イムス三芳総合病院 地域医療連携室
 発行日/2010年8月
 〒354-0041 埼玉県入間郡三芳町藤久保266-1
 医療法人社団明芳会 イムス三芳総合病院
 TEL049-258-2323
 http://www.ims.gr.jp/miyoshisougou/



予防接種のすすめ ~小児科外来より~

♪みなさんご存知ですか? わが国の予防接種体制は世界標準からはるかに及ばない、遅れたもの
 のなのです。一昨年より、ようやくヒブワクチンの任意接種がスタートしました。ワクチンの供給不足があり、ご迷惑
 をお掛けしてしまいましたが、それも今秋からは解消されて、お待たせすることなく接種ができるようになります。

♪当院では今年、新たに2つのワクチンの接種を開始しました。

☆肺炎球菌ワクチン(任意接種 9,975円) ☆日本脳炎ワクチン(定期接種 公費助成あり)

♪肺炎球菌ワクチンとは...

肺炎球菌は子供に肺炎、中耳炎、髄膜炎、菌血症などの病
 気を引き起こす怖い細菌です。ヒブ(インフルエンザ菌Type
 b)よりも悪性は高くないものの、頻度は非常に多いです。
 このワクチンの接種によって肺炎球菌による重症患者が98
 %減少したというデータがアメリカで出されています。

♪日本脳炎ワクチンとは...

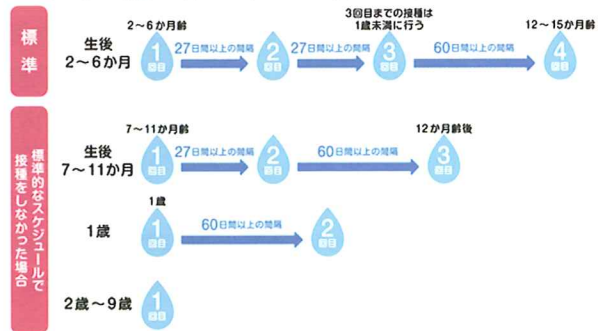
日本脳炎は日本脳炎ウイルスの感染によって起こります。
 ブタなどの体内で増えたウイルスが蚊(主にコガタアカイエカ)
 によって媒介されヒトに感染します。ブタ→蚊→ヒトとい
 う感染経路で感染します。

※(ヒト→ヒトという感染経路で感染することはありません)

日本脳炎ウイルスに感染後発症すると約1週間程度の潜
 伏期間の後、高熱、頭痛、嘔吐、意識障害などの症状を示す、
 急性脳炎になります。感染しても必ずしも発症する訳ではな
 く、殆どの感染者は症状が出ない、または夏かぜのような症
 状だけで終わる人もいます。

小児用肺炎球菌ワクチンの接種スケジュール

接種回数は、肺炎球菌ワクチンをはじめて接種する年齢によって異なります。
 かかりつけ医に相談して、早めにスケジュールを決めましょう。



定期予防接種スケジュール

出 発 時	3 月	6 月	9 月	1 2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 3 月	4 月																								
日本脳炎ワクチン																																								
ワクチン接種																																								
対象者	標準的な接種年齢 (赤い線) / 接種が定められている年齢(定期接種) (黄色い線)																																							
ワクチン	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対 象 者</th> <th>標準的な接種期間</th> <th>回 数</th> <th>期 間</th> <th>接種量</th> <th>方 法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>▽1期初回</td> <td>生後6月から生後9月に至るまでの間にある者</td> <td>3歳に達した時から4歳に達するまでの期間</td> <td>2回</td> <td>6日から28日まで</td> <td>0.5mL (3歳以上)</td> </tr> <tr> <td>▽1期追加</td> <td>生後6月から生後9月に至るまでの間にある者(1期初回終了後概ね1年おき)</td> <td>4歳に達した時から5歳に達するまでの期間</td> <td>1回</td> <td></td> <td>0.25mL (3歳未満)</td> </tr> <tr> <td>▽2期*</td> <td>9歳以上13歳未満の者</td> <td>9歳に達した時から10歳に達するまでの期間</td> <td>1回</td> <td></td> <td>0.5mL</td> </tr> </tbody> </table>																対 象 者	標準的な接種期間	回 数	期 間	接種量	方 法	▽1期初回	生後6月から生後9月に至るまでの間にある者	3歳に達した時から4歳に達するまでの期間	2回	6日から28日まで	0.5mL (3歳以上)	▽1期追加	生後6月から生後9月に至るまでの間にある者(1期初回終了後概ね1年おき)	4歳に達した時から5歳に達するまでの期間	1回		0.25mL (3歳未満)	▽2期*	9歳以上13歳未満の者	9歳に達した時から10歳に達するまでの期間	1回		0.5mL
対 象 者	標準的な接種期間	回 数	期 間	接種量	方 法																																			
▽1期初回	生後6月から生後9月に至るまでの間にある者	3歳に達した時から4歳に達するまでの期間	2回	6日から28日まで	0.5mL (3歳以上)																																			
▽1期追加	生後6月から生後9月に至るまでの間にある者(1期初回終了後概ね1年おき)	4歳に達した時から5歳に達するまでの期間	1回		0.25mL (3歳未満)																																			
▽2期*	9歳以上13歳未満の者	9歳に達した時から10歳に達するまでの期間	1回		0.5mL																																			
<p>*定期接種のご使用につきましては、予防接種実施規則に従い、また当該市町村担当課に 定期接種開始時期および定期接種対象者をご確認の上、ご使用いただきますようお願い申し上げます。 *2010年9月現在、2期接種については使用できるワクチンがない状態です。 秋以降は接種可能な肺炎球菌ワクチンによる2期接種ができるよう検討がなされているところです。</p>																																								

ICLSコース開催

「ICLS」とは「Immediate Cardiac Life Support」の頭文字を取った略語であり、突然の心停止に出会った時にどのように対処すべきかを学ぶコースです。

緊急性の高い病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標としており、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際の心肺停止症例に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけていきます。

6月13日(日)に日本救急医学会認定 ICLSコースを当院で開催しました。

今回で第3回目となり、盛大に行われました。コース開催担当医師に埼玉医科大学国際医療センター救急部の園田健一郎医師、指導者に東京医科大学病院救急医学講座の金子直之医師、東一成医師、当院の大澤俊也医師の他、埼玉県内の救急隊や看護師を迎え、18名の医療関係受講生に指導を行いました。コースのコーディネートは看護部外来主任の渡邊が務めました。



コースでは一次救命処置のBLSから開始され、心肺停止の患者さまへの胸骨圧迫心臓マッサージの重要性を学び、汗だくになりながら懸命に臨む受講生の姿が見受けられました。



ICLSコースでは心肺停止時の輸液ラインが確保できない場合、胸骨圧迫心臓マッサージを不必要に中断しないという理由から骨髄輸液を推奨しています。当院のICLSコースでは鶏骨を使用し、骨髄針で実際に鶏骨に穿孔して輸液ができるという体験もしています。実際に水が流れる場面を見た受講生の驚きと喜びの顔が印象的でした。

また金子医師のレクチャーのもと、気道確保

の方法について学び、シミュレーション人形を使用して手技を実践しました。バックバルブマスクの実施方法のコツを掴み、シミュレーション人形の肺が膨らむのを確認して喜ぶ受講生、気管挿管が難しく困惑する受講生など一喜一憂の表情。

気道確保のために、医師へのサポートが重要だと誰もが認識した場面でした。



悔し涙や喜びの涙を流しながら、汗かき恥かきという受講生でしたが、コース終了時は良い笑顔で修了式を迎えていました。

心肺停止へのチーム医療の重要性、患者さ



まご家族の想いを受け止める医療の大切さを誰もが認識できた1日でした。

次回はガイドライン2010のICLSコースを開催したいと考えています。

地域と患者さまのために、まだまだ頑張るICLSメンバーです。

日本救急医学会認定インストラクター
イムス三芳総合病院ICLSコースコーディネーター
看護部 渡邊

医師のご紹介

新しく当院で働くことになりました医師を紹介させていただきます!



内科 箱田 有亮

平成22年5月より内科専門医師として着任いたしました箱田と申します。外来では、長引く風邪や痰、息切れ、喘息や肺気腫、結核後遺症などの呼吸器疾患から生活習慣病といった一般内科の治療まで幅広い診療をさせていただき、入院では、特に呼吸器疾患や高齢者医療を得意としておりますので、これから他の先生方のお力添えの基に、患者さまの立場に立ち健康を守っていくための医療を提供していきたいと考えております。そして、患者さまの置かれている多種多様な状況にも応じた様々な観点からの病気との付き合い方などをアドバイスさせていただければと考えておりますのでお気軽にご相談ください。よろしくお願いいたします。



内科 岡信 孝治

平成22年2月より一般内科医師として着任しております岡信と申します。私は幅広い臨床経験を有しており、総合内科的な立場で患者さまの健康を守る最新の医療を提供していきたいと考えております。さらには、慢性疾患をお持ちの患者さまに関しては、ただ単に、教科書的に治療するだけではなく、生活環境、その他、患者さまの置かれている多種多様な複雑な状況にも応じた適切な病気との付き合い方に関しても助言させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。